

(別添資料1)

事業所名

放課後等デイサービス オリバー

支援プログラム

作成日

2026 年

2 月

3 日

法人（事業所）理念		戸外活動を中心とし、心身ともに逞しく成長していくことを目指します。					
支援方針		ご利用者本人や保護者様と信頼関係を気付いた上でお一人お一人に合った個別支援計画を立てていきます。日々、それぞれに課題がクリアできることを目指し、取り組んでいきます。					
営業時間		13 時	0 分から	19 時	0 分まで	送迎実施の有無	<div>あり</div> なし
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	登所時の手洗いや荷物の整理整頓を習慣化し、身辺自立を目指します。また、見通しを持った活動スケジュールにより、規則正しい生活リズムの定着を支援します。					
	運動・感覚	微細運動（手先の動き）を取り入れた工作やパズル等を行い、学習に必要な運筆力や手先の器用さを養います。感覚過敏のある児童には、イヤーマフ活用など環境調整を行います。					
	認知・行動	個別の学習時間を設け、宿題や特性に合ったプリント学習を支援します。集中力が続くようタイマーを活用したり、スモールステップでの課題設定を行います。					
	言語 コミュニケーション	SST（ソーシャルスキルトレーニング）を実施し、自分の気持ちを言葉で伝える練習や、相手の表情を読み取る練習を行います。SSTカードやロールプレイを活用します。					
	人間関係 社会性	ボードゲームや集団遊びを通じて、ルールの理解や「順番を守る」「勝ち負けを受け入れる」といった対人スキルを学びます。集団行動への参加を促し、協調性を育みます。					
家族支援		保護者の社会的な状況・就労形態・体調・送迎手段の不確保等の理由から送迎支援・各種相談支援を行います。利用者又は他の利用者等の生命又は身体を保護する為、緊急かつやむを得ない場合、最小限度の身体拘束を行わせて頂くことをご了承ください。				移行支援	近い将来を見据え、スムーズの次のステージに乗っていただけるよう努めていきます。又、その方法を日々話し合い、実行していきます。
地域支援・地域連携		連帯会議を定期的に開催し、情報収集、役割分担について協議していきます。各関係機関からの情報に基づき、具体的な場面でも子どもとの関わり方の提案や関わり方のポイントについて助言を行っていきます。				職員の質の向上	各指導員のスキルアップを目指し、積極的に研修への参加や資格取得を行ってまいります。
主な行事等		遠足、季節ごとの催し、テーマパーク、博物館、ボーリング、動物園、交通公園 買い物体験（スーパーやコンビニなど）、開校日は様々な公園に行きます。					